平成 24 年 11 月 2 日

各　位

会 社 名　株 式 会 社　コ ン セ ッ ク
代表者名　代表取締役会長 佐 々 木 秀 隆
（ＪＡＳＤＡＱ・コード９８９５）
問合せ先　取締役管理本部長 寺 本 泰 之
電　　話　082－277－5451（代表）

平成 25 年３月期第２四半期　投資有価証券評価損及び業績予想の修正に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復の見込があると認められないものについて、平成 25 年３月期第２四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じましたので、お知らせいたします。

また、平成 24 年５月 15 日に公表した平成 25 年３月期第２四半期累計期間（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）及び平成 25 年３月期通期（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．平成 25 年３月期第２四半期における投資有価証券評価損

	連　結	個　別
平成 25 年３月期第２四半期会計期間（平成 24 年７月１日から平成 24 年９月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝Ａ－Ｂ）	７百万円	７百万円
（Ａ）平成 25 年３月期第２四半期累計期間（平成 24 年４月１日から平成 24 年９月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	57 百万円	57 百万円
（Ｂ）直前四半期（平成 25 年３月期第１四半期）累計期間（平成 24 年４月１日から平成 24 年６月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	50 百万円	50 百万円

※　四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※　当社の決算期末は、３月 31 日です。

２．業績予想の修正について

（１）平成 25 年３月期第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（Ａ）	4,100	△82	△66	△89	△４円 88 銭
今回修正予想（Ｂ）	4,267	△29	△10	△106	△５円 83 銭
増減額（Ｂ－Ａ）	167	53	56	△17	
増減率（％）	4.1	―	―	―	
(ご参考)前期第２四半期実績(平成 24 年３月期第２四半期)	3,777	△221	△217	△333	△18 円 22 銭

（２）平成 25 年３月期第２四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（Ａ）	3,400	△42	△58	△３円 18 銭
今回修正予想（Ｂ）	3,589	△１	△74	△４円 05 銭
増減額（Ｂ－Ａ）	189	41	△16	
増減率（％）	5.6	―	―	
(ご参考)前期第２四半期実績 (平成 24 年３月期第２四半期)	3,102	△196	△312	△17 円 07 銭

（３）平成 25 年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	8,870	62	95	40	２円 19 銭
今回修正予想（Ｂ）	9,000	65	97	42	２円 30 銭
増減額（Ｂ－Ａ）	130	3	2	2	
増減率（％）	1.5	4.8	2.1	5.0	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年３月期)	8,212	△183	△157	△370	△20 円 29 銭

（４）平成 25 年３月期通期個別業績予想数値の修正（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	7,410	80	38	２円 08 銭
今回修正予想（Ｂ）	7,650	110	40	２円 19 銭
増減額（Ｂ－Ａ）	240	30	2	
増減率（％）	3.2	37.5	5.3	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年３月期)	6,779	△134	△314	△17 円 22 銭

（５）修正の理由

①個別業績予想の修正理由

第２四半期業績は、全般的に各事業部門とも順調な中で、特に学校耐震補強工事の売上が好調に推移したため、売上高は当初予想を上回る見込みとなり、経常損失は当初予想を大幅に改善する見込みとなりましたが、四半期純損失は、上記、投資有価証券評価損を計上するため、当初予想を若干拡大する見込みとなりました。通期業績につきましては、売上高、経常利益、当期純利益とも当初予想を上回る見込みとなりました。

②連結業績予想の修正理由

第２四半期業績については、個別業績予想に準じております。一方、通期業績につきましては、本年 4 月に中国に設立した連結子会社、南通康賽克半導体工具有限公司の稼動が遅れたこと及び連結子会社の株式会社サンライフの高齢者専用賃貸住宅の稼動率の伸び悩み等のため、個別業績予想に比べ営業利益、経常利益、当期純利益とも、当初予想とほぼ同等となる見込みとなりました。

※本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以　上